秦野支援学校

学校だより

第2号　令和5年　5月31日発行

編集部連絡先
〒257-0025　秦野市落合500
TEL　0463(81)1429　FAX　0463(83)4118
ホームページ
http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/

～ たての糸はあなた　よこの糸はわたし ～

教頭　阿久津　由紀子

鳥のさえずりと緑が美しい自然に迎えられ、大山を仰いで思わず深呼吸をしたくなるこの秦野支援学校に、この4月に着任いたしました。着任後さっそく近隣の小学校、中学校、そして農業指導講師の方々や地域の関係機関の方々へのご挨拶に出かけました。多様な教育部門を持つ本校が、たくさんの人に支えられ、秦野の地域性を生かしてのびのびと枝葉を伸ばし成長を続けている学校だということがわかりました。また、湘南、平塚、小田原、平塚盲学校と私がこれまでに赴任した支援学校で一緒に働いたことのある、たくさんの先生方と再びこの秦野支援学校で出逢うことができました。人と人を結ぶ縁の不思議とありがたさを実感しています。中島みゆきさんの「糸」という歌にこんな歌詞があります。

「 どこにいたの　生きてきたの　遠い空の下　ふたつの物語　たての糸はあなた　よこの糸はわたし
　逢うべき糸に　出逢えることを　人は　しあわせとよびます 」

私の大好きな歌で思わず口ずさんでいました。人と人が出逢い、手をとりあい織りなす布は、時に誰かの傷をかばうことができるかもしれません。また、誰かをあたためてあげることもできるでしょう。どんな色の糸を結びつないで、どんな布を織りなすことができるでしょうか。みなさまとのご縁を一つひとつ大切に結んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

Cかもめ

「季節を感じて」

小学生の図工では、季節を感じられる創作活動に取り組んでいます。花や葉のモビール作りでは、画用紙を花や葉の形に切り抜いてブックカバーをつけた台紙に、カラーセロハンを貼っていきました。カラーセロハンを光に透かし、色を確かめながら貼り付け、カラフルな作品を完成させました。他にも、お花紙をクシャクシャ丸めて袋に入れてこいのぼりを、転がし絵で雨の中のカタツムリも作りました。出来上がったたくさんの作品が飾られ、教室がカラフルに彩られています。

「身の回りの生物の観察」

中学生の理科では、顕微鏡を使ってツユクサやミジンコ、シダの胞子の観察をおこないました。対物レンズとプレパラートを近づけてから、接眼レンズを覗いてピントを合わせて…と使い方を確認しながら観察を進めました。「ミジンコは目がついていて、体の形は…」「ツユクサの裏は網みたいな線がたくさん見える」等、じっくり観察をして、その様子をまとめていました。入院中でも、実物に触れたり、観察したりする機会を大切にしながら学習を進めています。

D弘済

D弘済では 4月下旬から個別学習やグループ学習が始まり、にぎやかに日々を過ごしています。児童・生徒の皆さんが集中して学習に取り組んだり、楽しそうに運動や制作に向かったりする様子がたくさん見られます。基礎２クラスでは運動のグループ学習で「まねっこ運動」と「けんけんぱ運動」をやりました。「まねっこ運動」では教員の手本やまねっこカードを見て、腕を上にぴんと伸ばし東京スカイツリーになったり、片足立ちでかかしになってみたり、全身を使って色々なものになりきっていました。

東京スカイツリー

かかし

「けんけんぱ運動」では音の出るドレミマットを床に置き、けんけんぱの足の運びで音を鳴らしながら進んでいきました。ド・レ・ミの音が出るマットにわくわく、ドキドキな表情でした。

けんけんぱ

G 部門

4月24日（月）に中学部２名・高等部２名の生徒の入学を祝うための「新入生を祝う会」をおこないました。感染症対策をとりながら体育館に集まり、新入生の紹介・ゲーム・ダンスを心温まる雰囲気の中おこなうことができました。

「ボール送りゲーム」では、小学部・中学部・高等部ごとに、大きなボールを袋に入れてペアのお友だちと一緒に運ぶというゲームをおこないました。バランスを取りながら上手に運ぶペア、ボールを袋から落としてしまうペアなどさまざまでしたが、「がんばれー」「すごーい」という声があちらこちらから聞こえ、大いに盛り上がりました。

「ダンス」では、振り付けの合間にお友だちとタッチすると、「いえーい」「よろしくね」などという言葉と一緒にたくさんの素敵な笑顔が見られました。G部門の皆さんの仲の良さが感じられました。

入学・進級して１カ月が過ぎ、新しい学校生活にも慣れてきたように感じます。いろいろなお友だちや先生と関わりながら、自分の良い所をたくさん見つけて成長していって欲しいと思っています。